

新医学系指针对应「情報公開文書」フォーム

単施設研究用

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

以下、本文-----

手術室看護師による BLS トレーニングの適切な教育機関についての検討

1. 研究の対象

2021年8月～12月に手術室でBLSトレーニングを受けた手術室看護師

2. 研究目的・方法・研究期間

医療従事者のみならず一般市民でも心停止時の一次救命措置(Basic Life Support :BLS)は広く知られている。特に医療従事者においては、その所属施設内外でのトレーニングは広く行われている。しかしながら、BLS で身に着けた適切な心肺蘇生(胸骨圧迫の質:適切な速さ、深さ、持続時間など)の技術がどれぐらいの期間トレーニング後に維持されるのかについてはよくわかっていない。その期間を知ることで、適切なトレーニング期間(何か月おきに BLS トレーニングを行うべきか)についての推測を可能とするため重要と考えられる。

・研究期間 倫理委員会承認日から2年

・方法

本研究では、口頭による同意がとれた当センター手術室看護師を対象とする。

現在、手術室で行われているBLSトレーニングの前後で低忠実度マネキンを用いたテスト用のCPR(心肺蘇生)を2分間行い、評価者はあらかじめ作成した点数表を用いてスコアリングを行う。次に、そのトレーニング後(1か月と3か月)で同様のCPRに関する2分間のテストを行い、その時のパフォーマンスを同様に点数化し、記録する。1か月と3か月後のテストを受ける群は、ランダム割り付けを行い、最終的に BLS トレーニング直後と1か月または3か月後のテストスコアを比較、また1か月と3か月後の点数も同様に比較する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、卒後年数、シミュレーショントレーニングの慣れの有無

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 麻酔科 担当者名 小嶋 大樹

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究責任者：あいち小児保健医療総合センター麻酔科 小嶋 大樹

公開日 2021年7月30日

-----以上